

# グループポリシーの設定

(株)アイ・コン

この資料は、マイクロソフト社の以下のページを基に作成しております。詳しくは下記をご覧ください。  
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/deployedge/configure-microsoft-edge>

# この資料について

この資料では、風神Webコネクとドキュメントビューアーを利用してWebシステムを構築する場合に、ブラウザのセキュリティによってブロックがかかる現象について、グループポリシーの設定で回避する方法を説明しています。

- ・ドキュメントビューアー起動時にメッセージダイアログが毎回表示される。(Chrome、Edge共通)
  - ・連続して実行するとドキュメントビューアーが起動しない。(Edgeのみ)
- という問題が回避されます。

# グループポリシーの設定の手順

1. グループポリシーのテンプレートをダウンロードする
2. グループポリシーのテンプレートをOSに組み込む
  - ユーザーで個別に行う場合
  - ActiveDirectoryで行う場合
3. グループポリシーを設定する

# 1. ポリシーのテンプレートをダウンロードする

- ▶▶ EdgeとChromeでURLや操作が違います。

# 1. ポリシーのテンプレートをダウンロードする (Edgeの場合)

## ①現在利用しているEdgeのバージョンを確認する

テンプレートをダウンロードする際、Edgeのバージョン情報が必要です。ご不明な場合には情報システム部門の方にご確認ください。

確認方法は以下の通りです。

The screenshot shows the Microsoft Edge settings page at `edge://settings/help`. The page displays the version information for Microsoft Edge (101.0.1210.39) and provides a link to "Microsoft Edgeについて" (About Microsoft Edge). A red callout box points to the "ヘルプとフィードバック" (Help and feedback) option in the settings menu. Another red callout box points to the "Microsoft Edgeについて" link at the bottom of the page. A third red callout box points to the "Microsoft Edgeについて" link in the footer. A fourth red callout box points to the "ヘルプとフィードバック" option in the settings menu. A fifth red callout box points to the "Microsoft Edgeについて" link in the footer.

①「…」をクリック

②「ヘルプとフィードバック」をクリック

③「MicrosoftEdgeについて」をクリック

④こちらがEdgeのバージョンとビルド、プラットフォームの情報です

Microsoft Edge  
バージョン 101.0.1210.39 (公式ビルド) (64 ビット)

Microsoft Edge は最新です。

Microsoft Edgeについて

ヘルプとフィードバック

Microsoft Edgeについて

# 1. ポリシーのテンプレートをダウンロードする (Edgeの場合)

②入手したいテンプレートファイルのURLを開く(Edgeの場合)

下記URLを開きます。

Edge: <https://www.microsoft.com/ja-jp/edge/business/download>

画面を下に下げ、ポリシーファイルの取得が見えるようにします。

## 最新版をダウンロード

Windows

macOS

Linux

### Windows 64-bit

138.0.3351.109

ダウンロード ↓

Windows 64-bit のポリシーをダウンロード

### Windows 32-bit

138.0.3351.109

ダウンロード ↓

Windows 32-bit のポリシーをダウンロード

### Windows ARM64

138.0.3351.109

ダウンロード ↓

Windows ARM64 のポリシーをダウンロード

# 1. ポリシーのテンプレートをダウンロードする (Edgeの場合)

③チャンネルバージョン、ビルド、プラットフォームを選択してポリシーファイルの取得をクリック

最新版をダウンロード

Windows

macOS

Linux

Windows 64-bit

138.0.3351.109

ダウンロード ↓

Windows 64-bit のポリシーをダウンロード

Windows 32-bit

138.0.3351.109

ダウンロード ↓

Windows 32-bit のポリシーをダウンロード

Windows ARM64

138.0.3351.109

ダウンロード ↓

Windows ARM64 のポリシーをダウンロード

OSの種類に合った「ポリシーをダウンロード」をクリック  
(MicrosoftEdgePolicyTemplates.cabがダウンロードされる)

# 1. ポリシーのテンプレートをダウンロードする (Chromeの場合)

## ①入手したいテンプレートファイルのURLを開く(Chromeの場合)

下記のURLを開きます。

Chrome: <https://support.google.com/chrome/a/answer/187202?hl=ja>

画面を下に下げ、「Chromeポリシーテンプレートのインストールと設定」の中のWindowsを展開し、「Google Chrome のテンプレートとドキュメントのZIP ファイル。」をクリックします。

Chrome Enterprise and Education ヘルプ

Chrome ポリシー テンプレートのインストールと設定

下記をクリックして、ご利用のプラットフォームにあった手順をご確認ください。

Windows

Windows の場合、2 種類のポリシーテンプレート (ADM テンプレートと ADMX テンプレート) があります。ご利用のネットワークで使用できるタイプをご確認ください。テンプレートには、Chrome の設定に使用できるレジストリキーと、指定できる値が記載されています。Chrome の動作は、これらのレジストリキーの設定値を参照して決定されます。

ステップ 1: Chrome ポリシー テンプレートをダウンロードする

1. Google Chrome バンドルをダウンロードします。
2. バンドルを開きます。

[Configuration] フォルダ内のポリシーテンプレートと、[Documentation] フォルダ内のドキュメントを見つけます。

また、テンプレートだけをダウンロードして、[Google Chrome のテンプレートとドキュメントの ZIP ファイル](#) ですべてのオペレーティングシステムに共通の内容を開示するプロセスを確認することもできます。

Windows 上の Chrome ブラウザ (社内導入型システムでの管理)

- 管理対象パソコンに Chrome ブラウザのポリシーを設定する
- デバイスの現在の Chrome ポリシーを表示する
- Windows レジストリを使用して Chrome ポリシーを管理する
- Chrome ブラウザの初期設定を使用する

## 2. ポリシーのテンプレートを OSに組み込む

- ▶▶ ローカルユーザーへの設定とActiveDirectoryの設定で少し操作が異なります。

## 2. ポリシーのテンプレートをOSに組み込む

### ①ダウンロードしたファイルを展開する

ダウンロードされたファイルを展開してください。

Zipファイルを展開すると以下のようなフォルダ構成ができています。

【Edgeのテンプレートの場合】

名前	更新日時	種類	サ
examples	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
html	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
mac	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
<u>windows</u>	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
VERSION	2022/04/21 8:12	ファイル	

今回使うファイルはここに  
あります

【Chromeのテンプレートの場合】

名前	更新日時
今日	
<u>windows</u>	2025/07/21 22:02
common	2025/07/21 22:02
先週	
VERSION	2025/07/21 22:02

今回使うファイルはここに  
あります

## 2. ポリシーのテンプレートをOSに組み込む

(クライアント環境の場合)

### ②PolicyDefinition フォルダを開く

エクスプローラを開き、フォルダーパスが表示されているところに「%windir%\PolicyDefinitions」を貼り付けます。



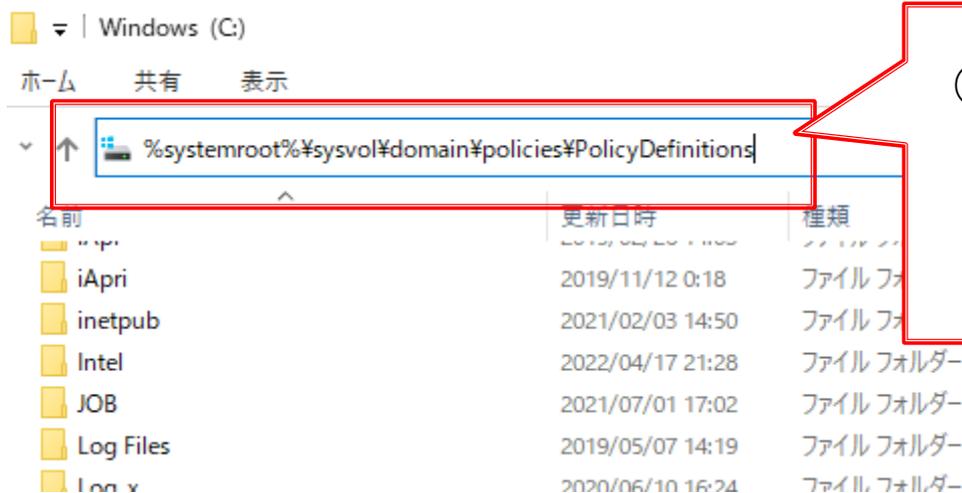
PolicyDefinitionのフォルダーが開きます。

## 2. ポリシーのテンプレートをOSに組み込む

(管理用テンプレートを Active Directory に追加する場合)

### ②PolicyDefinition フォルダを開く

エクスプローラを開き、フォルダーパスが表示されているところに「%systemroot%\%sysvol%\domain%\policies\%PolicyDefinitions」を貼り付けます。



①「%systemroot%\%sysvol%\domain%\policies\%PolicyDefinitions」の文字を貼り付ける

②リターン押す  
または  
「⇒」ボタンクリック

PolicyDefinitionのフォルダーが開きます。

※開けない場合: 以前のバージョンのWindows Server では、PolicyDefinition フォルダの作成が必要になる場合があります。詳しくは、次ページの別資料をご覧ください。

# 【別資料】ドメインサーバで PolicyDefinitionsが開けない場合

ドメインサーバに  
「%systemroot%\¥sysvol¥domain¥policies¥PolicyDefinitions」  
がない場合、以下の操作を行います。

①上記のパスに「PolicyDefinitions」フォルダーを作成する

②サーバOSの情報に合わせてPolicyDefinitionsに入れるべきファイルを  
コピーする

こちらはサーバの状況により操作が変わります。

- Windows 8.1 ベースまたは Windows 10 ベースのクライアント コンピューター  
の C:¥Windows¥PolicyDefinitions フォルダ
- 上記のリンクから管理用テンプレートを個別にダウンロードしたことがある場合は、  
C:¥Program Files (x86)¥Microsoft Group Policy¥<version-  
specific>¥PolicyDefinitions フォルダ。

詳細の設定方法につきましては、マイクロソフト社の下記サイトをご確認ください。

<https://docs.microsoft.com/ja-JP/troubleshoot/windows-client/group-policy/create-and-manage-central-store>

## ②ポリシーのテンプレートをOSに組み込む (Edgeの場合)

### ③目的のフォルダーに目的のファイルを保存する

決められたファイルを決められたフォルダーに保存します

#### ①で展開したフォルダ 【¥windows¥admx】から

名前	更新日時	種類	サイズ
es-ES	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
fi-FI	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
fr-FR	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
hu-HU	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
it-IT	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
ja-JP	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
ko-KR	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
nb-NO	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
nl-NL	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
pl-PL	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
pt-BR	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
pt-PT	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
ru-RU	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
sv-SE	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
tr-TR	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
zh-CN	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
zh-TW	2022/04/22 12:58	ファイル フォルダ	
msedge.admx	2022/04/21 8:12	ADMX ファイル	647 KB
msedgeupdate.admx	2022/04/21 8:12	ADMX ファイル	7 KB
msedgewebview2.admx	2022/04/21 8:12	ADMX ファイル	7 KB

- msedge.admx
- msedgeupdate.admx
- msedgewebview2.admx

#### ②で開いたフォルダ 【 PolicyDefinitions 】へコピー

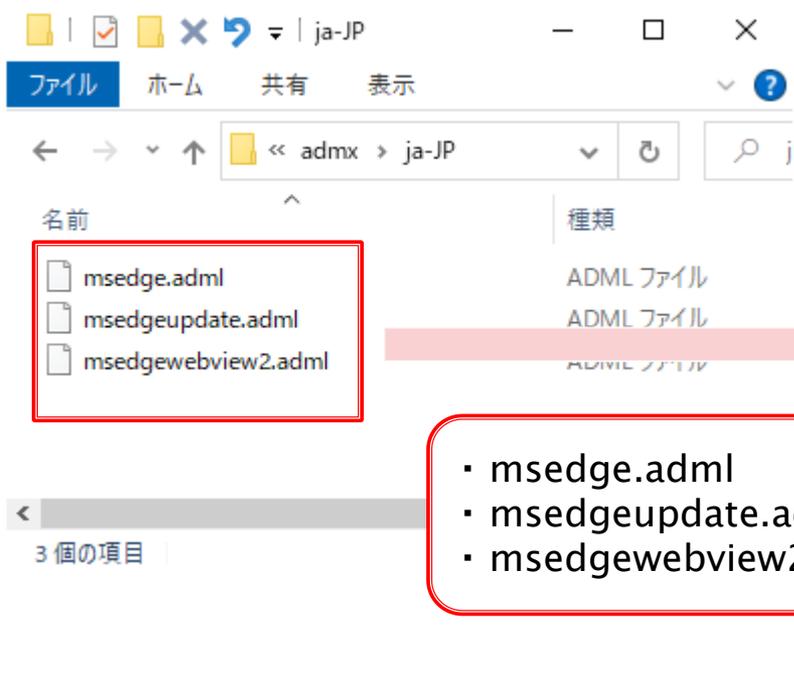
名前	更新日時
en-US	2022/04/14 17:35
ja-JP	2022/04/14 17:35
ActiveXInstallService.admx	2019/12/08 0:14
AddRemovePrograms.admx	2019/12/08 0:14
AllowBuildPreview.admx	2019/12/07 18:10
AppCompat.admx	2019/12/08 0:14
AppHVSI.admx	2019/12/08 0:14
AppPrivacy.admx	2019/12/07 18:08

## ②ポリシーのテンプレートをOSに組み込む (Edgeの場合)

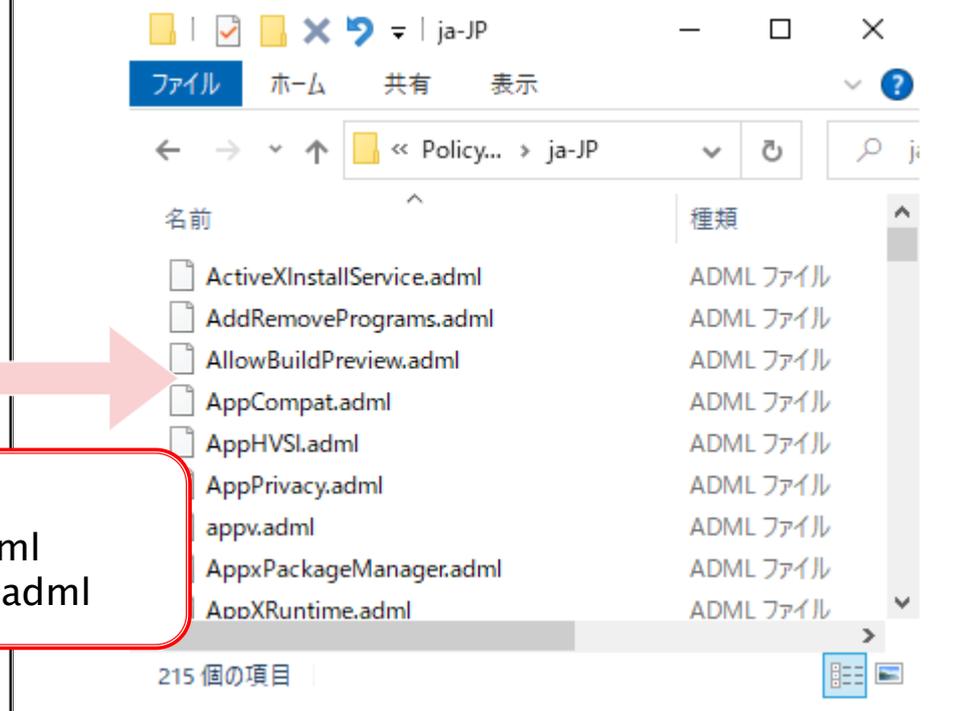
### ③目的のフォルダーに目的のファイルを保存する

決められたファイルを決められたフォルダーに保存します

#### ①で展開したフォルダ 【¥windows¥admx¥ja-JP】から



#### ②で開いたフォルダ 【 PolicyDefinitions¥ja-JP 】へコピー



- msedge.adml
- msedgeupdate.adml
- msedgewebview2.adml

## ②ポリシーのテンプレートをOSに組み込む (Edgeの場合)

### ③目的のフォルダーに目的のファイルを保存する

※同じ名前のファイルですが内容は異なりますので指定のフォルダーに指定のファイルを貼り付けてください。

①で展開したファイルのフォルダー名	PolicyDefinitionのフォルダーの保存先	Edgeのポリシーを適用する場合
¥windows¥admx	PolicyDefinitionsの直下	<ul style="list-style-type: none"><li>msedge.admx</li><li>msedgeupdate.admx</li><li>msedgewebview2.admx</li></ul>
¥windows¥admx¥ja-JP	PolicyDefinitions内のja-JPフォルダー	<ul style="list-style-type: none"><li>msedge.adml</li><li>msedgeupdate.adml</li><li>msedgewebview2.adml</li></ul>

技術者向け 補足)

*msedge.admx*: Microsoft Edge 設定を構成する場合に使用。

*msedgeupdate.admx*: manage Microsoft Edge 更新プログラムを管理する場合に使用。

技術者向け 補足2)

ドメインに複数のドメイン コントローラーがある場合、新しい ADMX ファイルは、次回のドメイン レプリケーション時にレプリケートされます。

## ②ポリシーのテンプレートをOSに組み込む (Chromeの場合)

### ③目的のフォルダーに目的のファイルを保存する

決められたファイルを決められたフォルダーに保存します

①で展開したフォルダ  
【¥Configuration¥admx】から

名前	更新日時
vi-VN	2022/05/07 17:45
zh-CN	2022/05/07 17:45
zh-TW	2022/05/07 17:45
chrome.admx	2022/04/29 19:50
ChromeUASwitcher.admx	2022/04/29 19:50
google.admx	2022/04/29 19:50
GoogleUpdate.admx	2022/04/29 19:50
LegacyBrowserSupport.admx	2022/04/29 19:50
PasswordAlert.admx	2022/04/29 19:50

72 個の項目

②で開いたフォルダ  
【 PolicyDefinitions 】へコピー

名前	更新日時
en-US	2022/04/14 17:35
en-JP	2022/04/14 17:35
ActiveXInstallService.admx	2019/12/08 0:14
AddRemovePrograms.admx	2019/12/08 0:14
AllowBuildPreview.admx	2019/12/07 18:10
AppCompat.admx	2019/12/08 0:14
AppHVSI.admx	2019/12/08 0:14
AppPrivacy.admx	2019/12/07 18:08

213 個の項目

- ・chrome.adml
- ・google.adml

## ②ポリシーのテンプレートをOSに組み込む

(Chromeの場合)

### ③目的のフォルダーに目的のファイルを保存する

決められたファイルを決められたフォルダーに保存します

The image shows two side-by-side Windows File Explorer windows. The left window, titled '①で展開したフォルダ【¥Configuration¥admx¥ja-JP】から', shows the 'admx' folder containing 'chrome.adml' and 'google.adml' files, which are highlighted with a red box. The right window, titled '②で開いたフォルダ【 PolicyDefinitions¥ja-JP 】へコピー', shows the 'PolicyDefinitions' folder containing various ADML files. A large red arrow points from the 'chrome.adml' and 'google.adml' files in the left window to the right window. A red-bordered box at the bottom center contains the text: '・chrome.adml' and '・google.adml'. The status bars at the bottom indicate '2 個の項目' for the left window and '215 個の項目' for the right window.

①で展開したフォルダ  
【¥Configuration¥admx¥ja-JP】から

名前 更新日時

chrome.adml	2022/04/29 20:07
google.adml	2022/04/29 20:07

2 個の項目

②で開いたフォルダ  
【 PolicyDefinitions¥ja-JP 】へコピー

名前 種類

ActiveXInstallService.adml	ADML ファイル
AddRemovePrograms.adml	ADML ファイル
AllowBuildPreview.adml	ADML ファイル
AppCompat.adml	ADML ファイル
AppHVSI.adml	ADML ファイル
AppPrivacy.adml	ADML ファイル
appv.adml	ADML ファイル
AppxPackageManager.adml	ADML ファイル
AppXRruntime.adml	ADML ファイル

215 個の項目

・chrome.adml  
・google.adml

## ②ポリシーのテンプレートをOSに組み込む

(Chromeの場合)

### ③目的のフォルダーに目的のファイルを保存する

「PolicyDefinitionsの直下」と「PolicyDefinitions内のja-JP」にそれぞれファイルを保存します。

※同じ名前のファイルですが内容は異なりますので指定のフォルダーに指定のファイルを貼り付けてください。

①で展開したファイルのフォルダー名	PolicyDefinitionのフォルダーの保存先	Chromeのポリシーを適用する場合
policy_templates¥windows¥adm x	PolicyDefinitionsの直下	・chrome.adml ・google.adml
policy_templates¥windows¥ad mx¥ja-JP	PolicyDefinitions内の ja-JPフォルダー	・chrome.adml ・google.adml

# 3. グループポリシーを設定する

- ▶▶ ローカルユーザーへの設定とActiveDirectoryの設定で起動の方法は異なりますが、設定内容は同じです。

# 3. グループポリシーを設定する

(ローカルユーザーで設定する場合)

## ①グループポリシー 管理エディターを開く

グループ ポリシー 管理エディターにて、[ポリシー] > [管理用テンプレート] に [Microsoft Edge] のポリシーが表示されていることを確認します。

The image shows two screenshots from a Windows 10 desktop. The left screenshot shows a search for 'グループポリシーの編集' (Edit Group Policy) in the Windows Start menu search bar. The search results list 'グループポリシーの編集' under 'Web の検索' (Web search) and 'グループポリシーの編集' under 'Web の検索' (Web search). A red box highlights the top result, and a red arrow points to the right screenshot. The right screenshot shows the 'ローカルグループポリシーエディター' (Local Group Policy Editor) window. The left pane shows the tree view with 'ローカルコンピューター ポリシー' (Local Computer Policy) expanded, and '管理用テンプレート' (Administrative Templates) selected. A red box highlights '管理用テンプレート'. The right pane shows the list of policies, with 'Microsoft Edge' selected and highlighted by a red box. A red arrow points from the search result to the 'Microsoft Edge' policy.

①ぐるーぷと入力すると「グループっポリシーの編集」が出てくるのでクリック

# 3. グループポリシーを設定する (ActiveDirectoryで設定する場合)

## ① グループポリシー 管理エディターを開く

ドメインコントローラのサーバーマネージャーから「グループポリシーの管理」を開きます。

The screenshot shows the Windows Server Manager interface. The main area displays a list of roles and server groups, including AD DS, DHCP, DNS, IIS, and File Services and Memory Space Services. A search bar in the top right corner is active, and the search results list various system components. The option 'グループポリシーの管理' (Group Policy Management) is highlighted with a red box.

サーバー マネージャー

サーバー マネージャー > ダッシュボード

管理(M) ツール(T) 表示(V) ヘルプ(H)

ダッシュボード

- ローカル サーバー
- すべてのサーバー
- AD DS
- DHCP
- DNS
- IIS
- ファイル サービスと記憶域...
- 印刷サービス

サーバー マネージャーへようこそ

1 このローカル サーバーの構成

- 2 役割と機能の追加
- 3 管理するサーバーの追加
- 4 サーバー グループの作成
- 5 このサーバーをクラウド サービスに接続

役割とサーバー グループ

役割の数: 6 | サーバー グループの数: 1 | サーバーの合計数: 2

役割	数
AD DS	1
DHCP	1
DNS	1
IIS	1
ファイル サービスと記憶域サービス	2
印刷サービス	1

グループポリシーの管理

# ③グループポリシーを設定する

(ActiveDirectoryで設定する場合)

## ①グループポリシー 管理エディターを開く

グループポリシーオブジェクトの中から設定をしたいポリシーを選択し編集をえらびます。

The screenshot shows the 'グループポリシーの管理' (Group Policy Management) console. The left pane shows the hierarchy: フォレスト: > ドメイン > グループポリシー オブジェクト > Default Domain Policy. The right pane shows the 'Default Domain Policy' details, including a table of linked GPOs.

場所	強制	リンクの有効化	パス
...	いいえ	はい	icon-co.jp

フィルター処理  
の設定は、次のグループ、ユーザーおよびコンピューターにのみ適用されます(S):

名前
Authenticated Users

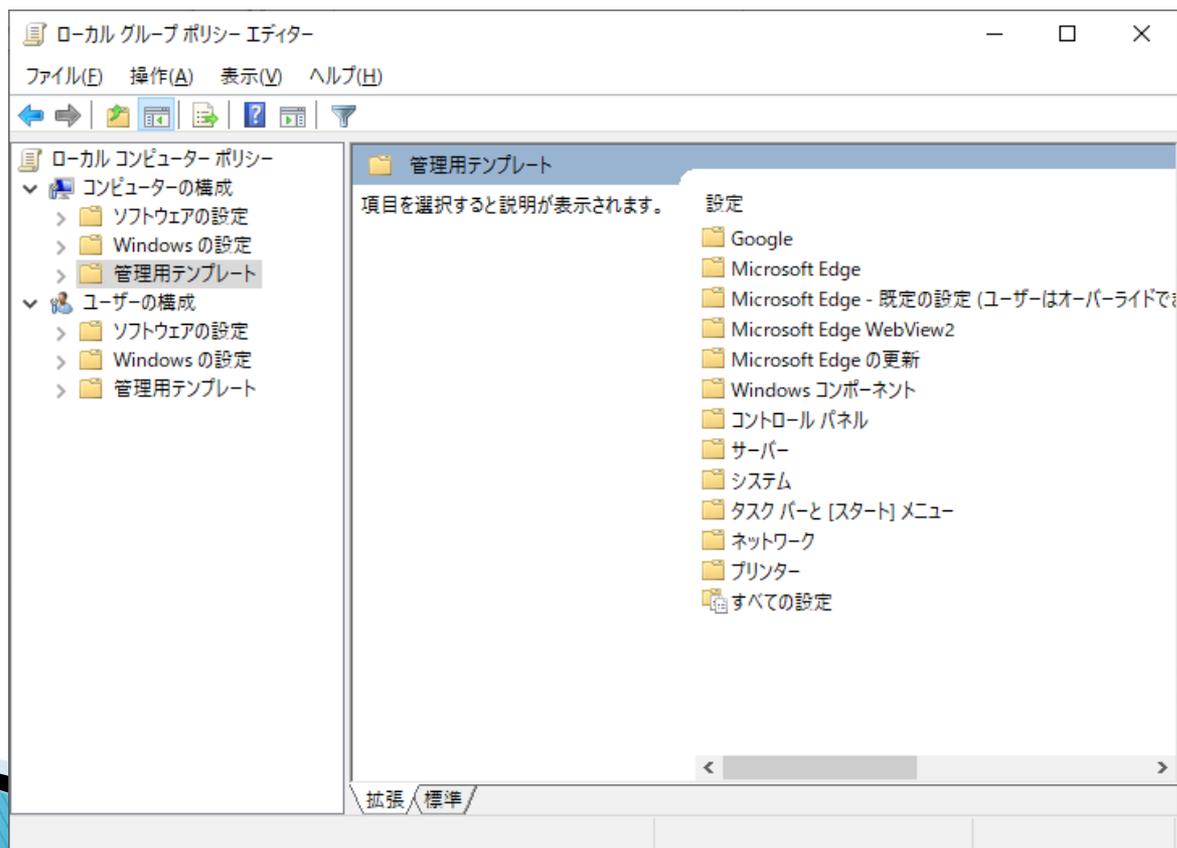
見本は  
DefaultDomeinPolicyを  
選択した場合

# 3. グループポリシーを設定する

## (ActiveDirectoryで設定する場合)

### ①グループポリシー 管理エディターを開く

グループポリシー管理エディターが開きます。



# 3. グループポリシーを設定する

## ②ポリシーがあるか、できているかを確認する

Chromeの場合

[コンピューターの構成] – [管理用テンプレート] – [Google] – [Google Chrome]

Edgeの場合

[コンピューターの構成] – [管理用テンプレート] – [Microsoft Edge]

を選び、下記の項目があるか確認してください。

ローカルグループポリシー エディター

ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)

ローカル コンピューター ポリシー

- コンピューターの構成
- 管理用テンプレート
- Google
- Microsoft Edge

Microsoft Edge

設定	状態	コメント
Windows のオーディオ プロセスを通常より高い優先度で実行するこ...	未構成	いいえ
オーディオ サンドボックスの実行を許可する	未構成	いいえ
初回実行時に別のブラウザのデータと設定を自動的にインポートする	未構成	いいえ
AutoLaunch Protocols Component Enabled	未構成	いいえ
ユーザーにメッセージを表示せずに、一覧表示された元の場所から外...	未構成	いいえ
AutoOpenFileType... 利用できる URL	未構成	いいえ
ダウンロード時に... 必要があるファイルの種類のリスト	未構成	いいえ
アドレスのオ...	未構成	いいえ
支払いメ...	未構成	いいえ
自動...	未構成	いいえ

必要条件:  
Microsoft Edge バージョン 85、  
Windows 7 以降

説明:  
プロトコルの一覧を設定したり、ユーザー  
にメッセージを表示せずに外部アプリケー  
ションを起動できる、関連  
信用パターンの一覧を各  
定義したりできます。プロトコ  
を示すときは、末尾の区  
めないでください。たとえは  
や "skype://" ではなく、  
示します。

このポリシーを構成した場  
にポリシーによってメッセー  
に外部アプリケーションを...

拡張 標準

275 個の設定

「ユーザーにメッセージを表示せずに、一覧表示された元の場所から外部アプリケーションを起動できるプロトコルの一覧を定義します。」を探します。

# 3. グループポリシーを設定する

ここからはポリシーを設定します。

設定方法の詳細は次ページから説明します。

## Edgeの場合

- ①ユーザーにメッセージを表示せずに、一覧表示された元の場所から外部アプリケーションを起動できるプロトコルの一覧を定義します。
- ②ダウンロード後に自動的に開くファイル形式のリスト
- ③洪水に対する防御によって警告することなくブロックすることができないプロトコルのリストを定義する

## Chromeの場合

- ①ユーザーに許可を求めずに外部アプリケーションを実行できるプロトコルとその提供元のリストを定義します
- ②ダウンロード後に自動的に開くファイル形式のリスト

# 3. グループポリシーを設定する (Edgeの場合)

## ③ポリシー設定の編集画面を開く

「ユーザーにメッセージを表示せずに、一覧表示された元の場所から外部アプリケーションを起動できるプロトコルの一覧を定義します。」を選んだ状態で、「ポリシー設定」の編集をクリックします。

①「ユーザーにメッセージを表示せずに…」を選ぶ

②ポリシー設定の編集

名前	説明	状態	コメント
ユーザーにメッセージを表示せずに、一覧表示された元の場所から外部アプリケーションを起動できるプロトコルの一覧を定義します。		未構成	いいえ
プロセスを通常より高い優先度で実行する...		未構成	いいえ
バックグラウンドプロセスの実行を許可する		未構成	いいえ
初期起動時に別のブラウザのデータと設定を自動的にインポートする		未構成	いいえ
Auto-launch Protocols Component Enabled		未構成	いいえ
ユーザーにメッセージを表示せずに、一覧表示された元の場所から外...		未構成	いいえ
AutoOpenFileTypes を適用できる URL		未構成	いいえ
ダウンロード時に自動的に開く必要があるファイルの種類のリスト		未構成	いいえ
...		未構成	いいえ
...		未構成	いいえ
自動再生を許可する		未構成	いいえ
特定のサイトでメディアの自動再生を許可する		未構成	いいえ
Microsoft Edge が終了してもバックグラウンド アプリの実行を続行...		未構成	いいえ
テンプレートを使用するコレクションや他の機能で利用できるテンプレ...		未構成	いいえ
Bing の検索結果のすべての広告をブロックする		未構成	いいえ
サードパーティの Cookie をブロックする		未構成	いいえ
ID ポップアップメニューまたは [設定] ページでのプロフィール作成を有...		未構成	いいえ
ゲストモードを有効にする		未構成	いいえ
...		未構成	いいえ

# 3. グループポリシーを設定する (Edgeの場合)

## ④ポリシーの設定を行う

有効をえらんで、オプションに値を入力します。

ユーザーにメッセージを表示せずに、一覧表示された元の場所から外部アプリケーションを起動できるプロトコル...

ユーザーにメッセージを表示せずに、一覧表示された元の場所から外部アプリケーションを起動できるプロトコルの一覧を定義します。

前の設定(P) 次の設定(N)

未構成(C) コメント:

有効(E)

無効(D)

サポートされるバージョン: Microsoft Edge バージョン 85、Windows 7 以降

オプション:

ユーザーにメッセージを表示せずに、一覧表示された元の場所から外部アプリケーションを起動できるプロトコルを定義します。

[{"allowed\_origins": ["\*"], "protocol": "hzd-downloader"}]

このポリシーを構成しなかった場合、メッセージを表示せずにプロトコルを起

OK

①有効にする

[ ]も入力します

②コードを入力する

・サーバ名を指定して実行する場合

```
[{"allowed_origins": ["サーバ名"], "protocol": "hzd-downloader"}]
```

・サーバを問わない場合

```
[{"allowed_origins": ["*"], "protocol": "hzd-downloader"}]
```

※Webジェネレータの場合、hzd-downloaderをHZDGeneratorに置き換えます。

③OKをクリック

# 3. グループポリシーを設定する (Edgeの場合)

## ③ポリシー設定の編集画面を開く

「ダウンロード後に自動的に開くファイル形式のリスト」を選んだ状態で、「ポリシー設定」の編集をクリックします。

①「ダウンロード後に自動的に開くファイル形式のリスト」を選ぶ

②ポリシー設定の編集

ポリシー名	状態
ダウンロード時に自動的に開く必要があるファイルの種類	有効
ダウンロード時に自動的に開く必要があるファイルの種類をユーザーのデータと設定を自動的にインポートする	未構成
ダウンロード時に自動的に開く必要があるファイルの種類を通常より高い優先度で実行すること	未構成
ダウンロード時に自動的に開く必要があるファイルの種類を許可する	未構成
ダウンロード時に自動的に開く必要があるファイルの種類をユーザーのデータと設定を自動的にインポートする	未構成
AutoL...ols Component Enabled	未構成
ユーザーに...を表示せずに、一覧表示された元の場所から外...	有効
AutoOpen...Typesを適用できる URL	未構成
ダウンロード時に自動的に開く必要があるファイルの種類	有効
アドレスのオートフィルを有効にする	未構成
支払い方法のオートフィルを有効にする	未構成
自動 HTTPS を構成	未構成
Web サイトでのメディアの自動再生を許可する	未構成
特定のサイトでメディアの自動再生を許可する	未構成

# 3. グループポリシーを設定する (Edgeの場合)

## ④ポリシーの設定を行う

有効をえらんで、オプションの表示ボタンをクリックし、値に「hzd」を入力します。

The screenshot shows the Windows Group Policy Editor window titled "ダウンロード時に自動的に開く必要があるファイルの種類のリスト". The "有効(E)" radio button is selected. A callout box labeled "①有効にする" points to this button. Below, the "オプション:" section has a "表示..." button highlighted with a callout "②表示ボタンをクリック". A secondary dialog box titled "表示するコンテンツ" is open, showing a table with the value "hzd" entered in the "値" column, with a callout "③値で「hzd」と入力する". At the bottom of the main window, the "OK(O)" button is highlighted with a callout "④OKをクリック". At the bottom of the secondary dialog box, the "OK(O)" button is highlighted with a callout "⑤OKをクリック".

①有効にする

②表示ボタンをクリック

③値で「hzd」と入力する

④OKをクリック

⑤OKをクリック

# 3. グループポリシーを設定する (Edgeの場合)

## ③ポリシー設定の編集画面を開く

「洪水に対する防御によって警告することなくブロックすることができないプロトコルのリストを定義する」を選んだ状態で、「ポリシー設定」の編集をクリックします。

①「洪水に対する防御・・・」を選ぶ

②ポリシー設定の編集

ポリシー名	状態	説明
3D グラフィックス	未構成	いいえ
スクリーンショット	未構成	いいえ
ディスク キャッシュ	未構成	いいえ
ディスク キャッシュ サブシステムで設定する	未構成	いいえ
display-capture policy をチェックするがスキップする...	未構成	いいえ
DNS-over-HTTPS モニタリング	未構成	いいえ
目的の DNS-over-HTTPS リゾルバーの URI テンプレートを指定します	未構成	いいえ
洪水に対する防御によって警告することなくブロックすることができな...	未構成	いいえ
ディレクトリをダウンロードする	未構成	いいえ
ダウンロードの制限を許可する	未構成	いいえ
コレクション機能を有効にする	未構成	いいえ
Microsoft Edge の Discover 機能	未構成	いいえ
画像の補正が有効化されています	未構成	いいえ
Microsoft Edge でフォロー サービスを有効にする	未構成	いいえ
Microsoft Edge 対応ショッピング	未構成	いいえ
ユーザーによるお気に入りの編集を許可する	未構成	いいえ
制限された期間、非標準の URL をプロトコル機能を変更有効に	未構成	いいえ

こちらでは、hzdダウンロードの複数起動のブロックを解除します。

# 3. グループポリシーを設定する (Edgeの場合)

## ④ポリシーの設定を行う

有効をえらんで、オプションに値を入力します。

洪水に対する防御によって警告することなくブロックすることができないプロトコルのリストを定義する

前の設定(P) 次の設定(N)

未構成(C) コメント:

有効(E)

無効(D) サポートされるバージョン: Microsoft Edge バージョン 99、Windows 7 以降

オプション:

洪水に対する防御によって警告することなくブロックすることができないプロトコルのリストを定義する

downloader,"allowed\_origins": ["\*"]

OK キャンセル 適用

①有効にする

[ ]も入力します

②コードを入力する

・サーバ名を指定して実行する場合

```
{{"protocol": "hzd-downloader", "allowed_origins": ["サーバ名"]}}
```

・サーバを問わない場合

```
{{"protocol": "hzd-downloader", "allowed_origins": ["*"]}}
```

※Webジェネレータの場合、hzd-downloaderをHZDGeneratorに置き換えます。

③OKをクリック



# 3. グループポリシーを設定する (Chromeの場合)

## ④ポリシーの設定を行う

有効をえらんで、オプションに値を入力します。

ユーザーに許可を求めずに外部アプリケーションを実行できるプロトコルとその提供元のリストを定義します

前の設定(P) 次の設定(N)

未構成(C) コメント:

有効(E)

無効(D)

サポートされるバージョン: Microsoft Windows 7 以降

オプション:

ユーザーに許可を求めずに外部アプリケーションを実行できるプロトコルとその提供元のリストを定義します

[{"protocol": "hzd-downloader", "allow...

提供元の一致パターンは、URLBlocklist ポリシーと同様

OK キャンセル 適用

①有効にする

[ ]も入力します

②コードを入力する

- ・サーバ名を指定して実行する場合  
`[{"allowed_origins": ["サーバ名"], "protocol": "hzd-downloader"}]`
- ・サーバを問わない場合  
`[{"allowed_origins": ["*"], "protocol": "hzd-downloader"}]`

※Webジェネレータの場合、hzd-downloaderをHZDGeneratorに置き換えます。

③OKをクリック

# 3. グループポリシーを設定する (Chromeの場合)

## ③ポリシー設定の編集画面を開く

「ダウンロード後に自動的に開くファイル形式のリスト」を選んだ状態で、「ポリシー設定」の編集をクリックします。

①「ダウンロード後に自動的に開くファイル形式のリスト」を選ぶ

設定	状態	コメント
ソースの異なるリスト...	未構成	いいえ
ソースの異なる許可ポ...	未構成	いいえ
その他の DNS レコードタイ...	未構成	いいえ
ダウンロードディレクトリを設...	未構成	いいえ
ダウンロードの制限を許可する	未構成	いいえ
<b>ダウンロード後に自動的に開くファイル形式のリスト</b>	未構成	いいえ
ダウンロード前に各ファイルの保存場所を確認する	未構成	いいえ
タスク マネージャでプロセスを終了できるようにする	未構成	いいえ
タブ全体にプロモーション コンテンツを表示する	未構成	いいえ
ツールバー上のブラウザの試験運用版機能アイコン	未構成	いいえ
ディスク キャッシュ サイズをバイト単位で設定する	未構成	いいえ
ディスクのキャッシュ ディレクトリの設定	未構成	いいえ
ディスプレイ キャпча許可ポリシーを照会するかスキップするかを指定します。	未構成	いいえ
テストポリシーを有効にする	未構成	いいえ
デフォルトの検索プロバイダのコンテキスト メニュー検索アクセスを許可する	未構成	いいえ
デベロッパー ツールの使用を許可する状況を管理する	未構成	いいえ
ネットワーク サービスのサンドボックスを有効にする	未構成	いいえ
ネットワーク接続を有効にする	未構成	いいえ

②ポリシー設定の編集

ローカルグループポリシー エディター  
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)

ローカル コンピューター ポリシー  
コンピュータの構成  
ソフトウェアの設定  
Windows の設定  
名前解決ポリシー  
スクリプト (スタートアップ/シャット  
展開されたプリンター  
セキュリティの設定  
ポリシー ベースの QoS  
管理用テンプレート  
Google  
Google Chrome  
Google Chrome

ダウンロード後に自動的に開くファイル形式のリスト  
設定  
必須条件:  
Microsoft Windows 7 以降

ダウンロード後に自動的に開くファイル形式のリストです。ファイル形式のリストは、ダウンロード後に自動的に開くファイル形式のリストの区切り記号を含めずに指定する必要があります。たとえば「.txt」の場合は「ダウンロード後に自動的に開くファイル形式のリスト」を指定した形式のファイル形式のリストが有効な場合があります。安全でないとは判断された場合は開かれません。

このポリシーを未設定のままにした場合は、自動的に開くようユーザーが指定しているファイル形式のみが、ダウンロード後に自動的に開かれます。

拡張/標準

190 個の設定

# 3. グループポリシーを設定する (Chromeの場合)

## ④ポリシーの設定を行う

有効をえらんで、オプションの表示ボタンをクリックし、値に「hzd」を入力します。

The screenshot shows the Windows Group Policy Editor window titled 'ダウンロード後に自動的に開くファイル形式のリスト'. The '有効(E)' (Enabled) radio button is selected. The '表示...' (Show...) button is highlighted. A dialog box titled '表示するコンテンツ' (Content to show) is open, with 'hzd' entered in the '値' (Value) field. The 'OK(O)' button in the dialog is highlighted. The 'OK(O)' button at the bottom of the main window is also highlighted.

①有効にする

②表示ボタンをクリック

③値で「hzd」と入力する

④OKをクリック

⑤OKをクリック

# 3. グループポリシーを設定する

(ActiveDirectoryで設定する場合のみ)

## ⑤クライアントPCへのポリシーの適用

変更したグループポリシーが関連付けられている単位(ドメイン、組織など)で反映が行われます。

反映はクライアントPCが下記の状態の時に実施されます。

- ・コンピュータの起動
- ・ユーザーログイン
- ・クライアント更新間隔

# うまくいかないとき

- ▶ オプション部分でスペースが入っていないか確認を試みてください。入っていると値が正しくてもうまく動かない場合があります。